

関節リウマチ患者の歯周病治療における効果 病態による症状改善の
差異と早期治療の重要性を発表

～Medical Science Monitor誌に掲載～

サンスターグループ 2025年3月27日 10時00分

2025年3月27日10分
プレスリリース

大阪医科薬科大学とサンスターグループ（以下、サンスター）は共同研究により、歯周炎に罹患している関節リウマチ患者を対象に歯周病治療を実施し、関節リウマチの初期段階の患者に対する早期の歯周病治療が効果的であること、また歯周病原菌である*Porphyromonas gingivalis* (*P. gingivalis*) に対する血清抗体価※1が高い患者の方が歯周病治療による関節リウマチの改善効果が大きいことを明らかにしました。

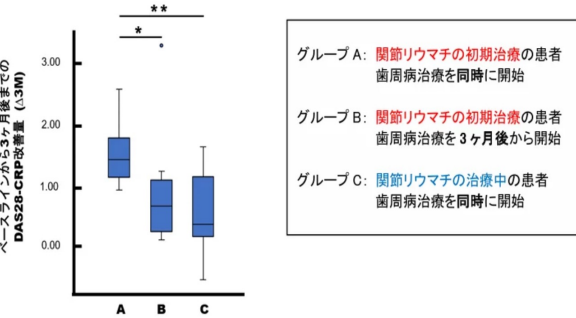


図1. 歯周病治療開始時期が異なる各グループにおけるベースラインから3ヶ月後までの DAS28-CRP の改善

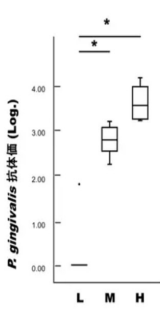


図2. 3つのグループ(L、M、H)のベースラインにおける *P. gingivalis* 抗体価

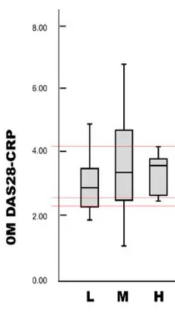


図3. 各グループのベースラインの関節リウマチの活動性

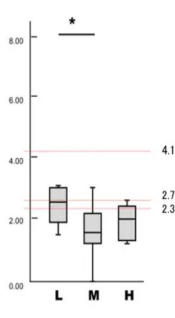


図4. 各グループの治療12ヶ月後の関節リウマチの活動性

<研究結果>

1. 関節リウマチの治療段階と歯周病治療の効果

関節リウマチの治療を開始する前の患者で治療開始と同時に歯周病治療を開始した患者（グループ A）は、関節リウマチの治療を開始する前の患者で治療開始から3ヶ月後に歯周病治療を開始した患者（グループ B）や関節リウマチの治療中の患者（グループ C）よりも、ベースラインから3ヶ月後までの関節リウマチの活動性（DAS28-CRP）が大きく改善しました（図1）。

2. 歯周病原菌*P. gingivalis*に対する抗体価と歯周病治療の効果

ベースライン時の *P. gingivalis* に対する血清抗体価で3つのグループ（L：低い、M：中程度、H：高い）に分け（図2）、ベースライン時と12ヶ月後について調べた結果、*P. gingivalis*に対する血清抗体価が高い患者の方が、低い患者よりも関節リウマチの活動性（DAS28-CRP）が大幅に改善しました（図3）（図4）。

★ 委員として提案

口腔ケアの有効性を対象疾患を絞って実施する、つまり、『口腔ケアにより、こうした疾患が改善する』という国民への啓発根拠となるような研究を、口腔ケア学会として社会へ戦略的に発信する時期が来ているように愚考します。

具体的には、認知症のApoE遺伝子検査と口腔特異細菌の遺伝子解析の関連研究などはどうでしょうか？